

環境教育全体計画

学校教育重点目標

- 互いに尊重し合う子ども
- 意欲的に学ぶ子ども
- ・思いやりと助け合い・自らを高める
- ・『確かな学力』の向上・学び合う姿

環境教育の目標

身近な自然に親しんだり、**スクールエコ運動**に取り組んだりして、**自然と共生**して生きる心豊かな生き方について理解を深めるとともに、**進んでよりよい環境作り**をしようとする実践力を養う。

環境教育で付きたい力

- 【自然保護運動】 植物の栽培や観察を通して、課題を見つける力。
- 【リサイクル運動】 物を大切にしようとする実践力。
- 【省資源運動】 節電や節水等、よりよい環境作りを配慮した行動をする力。

【学年の重点】

低学年	中学年	高学年
・日常的な活動の中で、 身近な環境に対する感受性や関心を高めていこうとする。	・ 体験的な活動 を通して、環境への関心を高め、協力して よりよい環境を作り出そうとする。	・ 環境を広い視野から考え 、進んでよりよい環境を作り出そうと 協力して取り組もうとする。

	自然保護運動	リサイクル運動	省資源運動
重点	○地球環境を考えた植物の栽培活動をしたり、身近な自然に触れたりすることで、身の周りの自然に積極的に働き掛けようとする態度を育てる。	○物を大切にしようとする意欲を育てるとともに、リサイクルとゴミの分別の仕方が分かり、実践する態度を育てる。	○限りある資源に関心をもち、資源を有効に使う意欲と実践力を育てる。
具体的方策	<p><各教科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科、生活科などでほなみが丘や地域の自然に触れる活動を学期に1回以上実施。 ○海で遊ぼう（全学年） ○サツマイモを植えよう（1年） ○秋を楽しもう（1年） ○野菜を植えよう（2年） ○春の生き物のようす（4年） ○図工で、森林組合による間伐材工作活動（4年） <p><総合的な学習の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほなみが丘や海を中心とした単元の開発と実施。教材の開発。 ○水田（5年） ○螢沢の活動 ○キノコの栽培や間伐（4年） ○地域の生き物調査（4年） <p><特別活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動としてのほなみが丘の整備（4月 8月） ・運動エリア、観察エリア、遊びエリアの整備。 	<p><道徳の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を大切にする指導。 <p><総合的な学習の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境と自分自身とのかかわりを見直し、自分にできることを実践する場の設定。 ・ゴミの分別の理解を深める体験を図ることでのゴミの減量化。 <p><地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源回収の実施。 ・親子資源回収の取組。（春か秋） <p><委員会による空き缶・廃油・ペットボトルの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶やペットボトルと廃油置き場を設置し、回収をする。 ・車椅子を福祉施設に届ける活動の継続。 	<p><各教科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科、社会、生活科、家庭科などにおいて、環境に関連する単元の指導を充実させる。 <p>【理科】</p> <p>自然の事物・現象に触れたり、働き掛けたりする活動を通して、生命や自然のすばらしさを体得し、科学的な見方や考え方を育てる。</p> <p>【社会科】</p> <p>環境保全の学習を通して環境破壊の事実や有効利用のあり方、文化の見直し等、よりよい環境を作り出す能力や態度を育てる。</p> <p>【生活科】</p> <p>具体的な活動や体験を通して、自分と環境とのかかわりを深める。</p> <p>【家庭科】</p> <p>衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、家庭の一員としてよりよい環境作りの実践力を育てる。</p> <p><特別活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・エコ委員会による省エネルギー（節電、節水）の実施のための啓発活動の実施。 ・年間を通じた省エネ運動（節電、節水）の実施。